

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト		
事務事業名	魅力ある港湾景観の形成				連絡先	052-654-7892
	対象(誰・何を)	名古屋港内の景観			連携課	港営課・管財課
目的	意図(どういう状態にしたいか)	ロマンと活気にあふれた港づくりをめざして、魅力ある良好ものにしてきます。			事業期間	平成5年度～継続
概要	臨港地区内の建築物等の景観について、名古屋港景観基本計画及びカラー計画マニュアルと整合が図られるよう事業者と調整します。また、名古屋港の歴史を物語る景観資源(歴史資源)の適正な管理に努めます。				根拠法令等	
令和元年度の実施予定	臨港地区内行為届出等の際に、カラー計画マニュアルや景観アドバイザー制度を紹介し、建築物の配色等について、計画に整合するよう協力を要請します。また、歴史資源の築地灯台の維持管理マニュアルを作成します。				実施義務	有 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	名古屋港カラー計画について24件の審査を行い、景観アドバイザー制度について2件の相談を受けました。また歴史資源である築地灯台の維持管理マニュアルについて検討を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	42	70	28	47	景観アドバイザー相談の件数が減少したため。
人件費	千円	2,757	2,766	3,670	3,064	
合計	千円	2,799	2,836	3,698	3,111	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
カラー計画マニュアルとの整合率(%) (単年度管理型)	目標	100	100	100	100	臨港地区内行為の届出等において、建築物等がカラー計画マニュアルと整合するように調整できた件数の割合を指標とします。(企業色や整合する既製品がない場合は対象外とします。) カラー計画マニュアルとの整合件数÷審査件数×100(%)	
	実績	94	88	100			
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値とお 目標値を下回る		
歴史資源5施設の維持管理マニュアル作成率(%) (進行管理型)	目標			40	100	歴史資源5施設のうち維持管理マニュアルを作成した施設の数の割合(%)を指標とします。 (最終年度は令和4年度とする。)	
	実績		20	20			
事業進捗状況(元年度)				順調	やや遅れ	遅れ	
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	カラー計画マニュアルの整合率は、目標値を達成しました。歴史資源の築地灯台の維持管理マニュアルについては構造等を把握するための既存資料がないため、進捗が遅れており、引き続き作業を進めています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献しております。景観審査におけるカラー計画との整合率は目標値に達しており、魅力ある港湾景観形成の成果は得られています。歴史資源の維持管理マニュアルについては、構造等を把握するための既存資料がなく、マニュアル完成には至っていません。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 事業者からの相談に応じて、アドバイザーに相談しています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、魅力ある景観づくりに取り組んでいく必要があるため。
課題		2年度以降の取組	
引き続き新たな建築物等について、カラー計画との整合が図られるよう業者に説明していく必要があります。また、構造等を把握するための既存資料がない歴史資源についての維持管理方法を検討する必要があります。		臨港地区内行為の届出等において、カラー計画マニュアルと整合が図られるよう調整していきます。また、歴史資源の構造や保存状況等を既存資料だけでなく現場で確認するなど、各施設に応じた維持管理マニュアルの作成を進めていきます。	